

「中間まとめ」に関する地域説明会 東根会場アンケートの概要

1 アンケート回答数

参加者数	回答者数	回答率
72名	52名	72.2%

2 回答者の居住地

東根市	村山市	山形市	天童市	山辺町
47名	1名	1名	2名	1名

3 どのような立場で参加したのか（複数回答）

ア 地区内の小学生の保護者として	10名（19.2%）
イ 地区内の中学生の保護者として	8名（15.4%）
ウ 地区内の高校生の保護者として	9名（17.3%）
エ 地域の住民として	13名（25.0%）
オ 地区内の4高校の同窓生として	12名（23.1%）
カ 教育関係者（教職員・教育行政関係者など）	13名（25.0%）
キ その他	3名（5.8%）

（%は、アンケート回答者52名の中での割合）

4 参加理由（複数回答）

ア 「中間まとめ」の内容を知りたい	45名	イ 会場での意見を聞きたい	24名
ウ 自分の意見を述べたい	2名	エ その他	2名

5 説明内容について

ア わかった	9名	イ おおむねわかった	31名
ウ あまりわからなかった	7名	エ わからなかった	0名
無回答	5名		

6 寄せられた主な意見

【人材育成に関する内容】

30～40年前に中心となった地場産業(就職先)と、この10年・現在の産業は何なのか。そして、これからどうなるのか？

それぞれの高校を卒業した生徒が、どれだけ関連した進路に進んでいるかを調査して、将来、最終的にどのような職業に就くのかを知ることによって、どのような学科を残すべきかを考えてほしい。

【教育内容や活動に関する内容】

地域を大切にして高校が配置されてきたと思う。このような中で、少子化が進むと同時に、専門学校、短大、4年制大学に進学する傾向が、子どもだけでなく、親も考えるようになってきている。しかしながら、地域産業の育成、発展が必要であり、この地域にあった専門の高校は必要と考える。

【学校の配置に関する内容】

少子化に伴う生徒数の減少により、高校の再編を余儀なくされていることは、充分わかる気がする。

我田引水になりがちであるが、村山農業高校について言えば、農業県である山形県において、国の基を為す農業高校は、置賜農業高校、村山農業高校、庄内農業高校と3地域に大別された。これまで、地域に根ざした農業教育を実践してきたことは、既成の事実と思われる。

アンケート調査(意識調査)によれば、農業科を希望する生徒数が少ないことは非常に残念に思われるところであるが、我が地域内の農業従事者をみるに、村山農業高校卒業生はいずれも若者の中心的な役割を持ちリーダーシップを発揮していることに対し、常日頃敬意を持っているものである。農業希望者が少ないから、農業高校を廃止するということがないよう、百有余年の歴史と伝統ある母校である。よろしくお願いしたい。

農業高校については北村山地区だけでなく、県全体と考え、農業教育に対して県でどう考えているのかが重要。北村山地区、西村山地区、東南村山地区で1つの農業高校を。

どのような人材の育成、どのような教育内容や活動が望ましいかにあてはめてみると、工業高校はなくてはならないと思う。少子化は北側から進んでいる。その中で、東根市内は「子育てするなら東根市」となりつつあり、小学校も増えるのですから、その割合を考えてほしい。

専門知識を教えてくれる、工業高校は残していただきたい。

少子化の時代です。中央、都市(山形付近)に集まるような編成のやり方

ではなく、学区毎に魅力ある学校を配置していただきたい。

伝統ある高校、同窓生の意見はあまり重視しないでいただきたい。

東根の工業団地で活躍できる人材育成(体験・実習)。また、キャリア教育の充実等から、東根工業高校は残していただきたい。

2校配置ではなく、3校配置で。

3校で進めてほしい。

「中間まとめ」は資料・説明で理解できたと思います。子どもたちが進学を希望しているのであれば、おおむね、その方向で編成すべきだと思う。現時点では、3校が良いと思う。

少子化に向けた対応としては3校とするのが良い。

ただ、普通高校と職業高校(産業系、総合学科)との兼ね合いは別で、特に職業高校は県の4地域(村山、置賜、最上、庄内)単位で考えるべきで、北村山地域のみで解決できない。

また、3年の職業高校でなく、高等専門学校も必要と思う(内陸に1つは)。そういう点を加味して再編すべきである。

説明をお聞きし、現状からすれば、3校への再編がより望ましいと考える。尾花沢・大石田地区に1校、村山市に1校、東根市に1校の3校再編が望ましいのではないかと思う。

ただ、どこにどういう高校となると、地域の考えもいろいろあるかと思うので、意見としては、こだわった考えでなく、諸実情(アンケート、土地等)に基づいて県から示していただき、これからの生徒のためということを中心に、各地区でも理解を示すべきであろうと考える。

地域の振興も考えた再編を願いたい。

北部、中部、南部の行政単位で1校ずつ3校に再編が望ましいと思う。

3校はやむを得ない。

統合しだいで、最寄駅からのアクセス(通学バス等)も十分考慮し検討してほしい。

東学区と北学区を撤廃し、東根市、村山市、尾花沢市に総合高校を。

北村山地域の広域化からみれば、4高校を3高校に再編することが現実的であると思われるが、今後の人口推移を考えると、2校の再編となるのではないか。将来の県内の教育振興も十分検討の上、地域内の教育の向上と地域の特色ある学校づくりを考えてほしい。

地域の産業高校にこだわらず、総合学科の役割も考えて、北村山地区より普通高校・他校への進学の出止めとなるのではないか。東根工業高校に普通科を設置することによって、中学生の希望進路も変わってくると思われるので、普通科の設置を強く要望する。また、県内における工業高校の専門校が

少ないので、レベルの高い専門校の設置なども考えていただきたい。

個人的には4校存続が望ましいが、他市町の意見なども知らせてほしい。
分校としてでも計4校としていけないか。

「北村山地区」というせまいワクをはずして高校のあり方を考えてほしい。
例えば、村山地区としてどうあるべきかなど。

将来の子どもたちの動向を考えて配置を考えてほしい。

少なくとも村山市は北村山地区の中心でないことを県教委でも認識してほしい。毎年、人口が流出しているのを見てもわかるとおりである。

【その他の内容】

産業界からの意見の聞き取りもしていただきたい。

再編時に関わる子ども、親の意見を大切にしてほしいと思う。

形式の報告にしかないのは理解しているが、具体的な内容が聞けなかったのが不満である。どのように考えているのか、どんな意見が交わされたのか、どうあるべきかの方向性を明示してほしいと感じた。

子どもの数が減っている現状を考えれば、再編はあたり前と思う。これからの子どもたちが行きたいと思う学校づくりに力を入れてほしい。それから、現在の北村山高校の実態を把握されているのか。学校が減るのであれば、そのあたりも検討していただきたい。魅力ある学校にすべきではないか。

北村山地区の中学生の4割が東南村山地区に進学している実態とは、北村山地区に入る学校がないということもあると思う。特徴のある、魅力のある学校の実現を期待したい。

学区は北学区で検討されているが、この地域の半分近く、特に東根市は半分以上が山形方面に通学している中で、村山ブロック全体での検討が必要でなかったのかと思う。県土の均衡ある発展を考えた場合、山形市内の高校を2校減らす検討もすべきである。

東南村山地域の高校へ通う生徒が多いので、地元に進みたくなる高校を望む。

みんなに理解される結果を望みたい。

他地区に流出しなくてもいいぐらいのすばらしい高校をつくっていただきたい。

高校の1クラスの定員を40人30人にすべきではないか。多様な社会のニーズに応えられるようにグローバルな人間を育てるべきと思う。留学などに積極的に取組むべき。

平成26年14学級にならないように、県をあげて、山形県の定住人口増

を考えるべき。

より具体的な再編プランを示して、広く意見を聞くようにしてほしい。

3校編成の場合と2校の場合、具体的に出してほしかった。

検討委員会の内容を充分かんがみ、高校の在り方を検討していただきたい。

学力レベルをどのように考えるか。レベルの差があると、学校全体にも影響されるため、十分な検討をお願いしたい。

単なる数合わせではなく、確かな理念に基づいた、具体的な計画が必要。

東学区に行かなくてもいいように、また、東学区から北村山地区の高校に入りたくなるような、これまでにない魅力ある高校を作ってもらいたい。言葉だけでなく、実現することを望みたい。まちづくりと密接なかかわりがある。バランスのよい配置をお願いしたい。

東根工業高校、村山農業高校、楯岡高校、北村山高校は、今、それぞれ地域にあった学校として、生徒も保護者も地域もがんばっているし、また、その学校に入ってすばらしい成績を残している生徒もいるので、再編については、まだまだ先のような気がする。今後について検討は必要だけれども。

以 上